

女性の政治参画マップ 2020

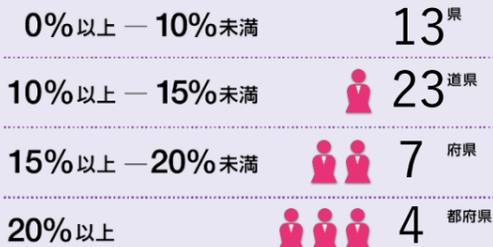
都道府県議会における女性議員の比率

都道府県	議員現員数(人)		女性議員の比率(%)
		うち女性(人)	
東京都	124	36	29.0
京都府	60	13	21.7
神奈川県	105	19	18.1
滋賀県	44	7	15.9
兵庫県	86	13	15.1
埼玉県	93	14	15.1
岩手県	47	7	14.9
岡山県	55	8	14.5
鳥取県	35	5	14.3
千葉県	94	13	13.8
宮城県	59	8	13.6
徳島県	38	5	13.2
長崎県	46	6	13.0
長野県	57	7	12.3
栃木県	50	6	12.0
静岡県	68	8	11.8
三重県	51	6	11.8
秋田県	43	5	11.6
新潟県	53	6	11.3
北海道	100	11	11.0
沖縄県	46	5	10.9
愛媛県	47	5	10.6
福岡県	87	9	10.3
宮崎県	39	4	10.3
富山県	40	4	10.0
鹿児島県	51	5	9.8
奈良県	42	4	9.5
山形県	43	4	9.3
岐阜県	45	4	8.9
福島県	58	5	8.6
山口県	47	4	8.5
島根県	37	3	8.1
群馬県	50	4	8.0
和歌山県	42	3	7.1
石川県	43	3	7.0
大阪府	88	6	6.8
茨城県	61	4	6.6
青森県	47	3	6.4
福井県	37	2	5.4
高知県	37	2	5.4
佐賀県	37	2	5.4
愛知県	102	5	4.9
香川県	41	2	4.9
広島県	64	3	4.7
大分県	43	2	4.7
熊本県	49	2	4.1
山梨県	37	1	2.7
全国合計	2668	303	11.4

(注)総務省「地方公共団体の議会の議員及び長の所属党派別人員調」より作成
(令和元年12月31日現在)

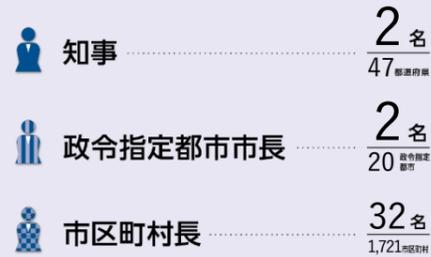
政治分野における女性の参画拡大は、多様な民意の反映のため極めて重要です。平成30年には議会議員の選挙において、男女の候補者の数ができる限り均等となることを目指す法律が施行されています。

市区町村議会における女性議員の比率



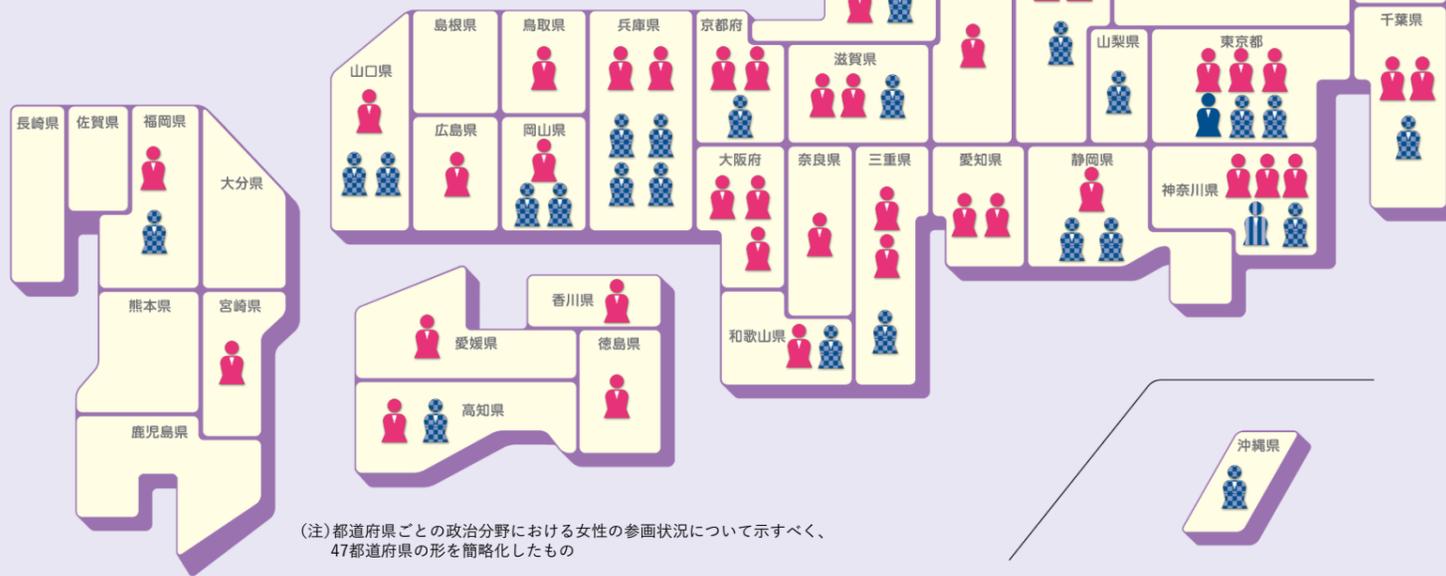
(注)総務省「地方公共団体の議会の議員及び長の所属党派別人員調」より作成
(令和元年12月31日現在)

首長



(注)内閣府「地方公共団体における男女共同参画社会の形成又は女性に関する施策の推進状況」より作成
(平成31年4月1日現在)

全国平均
11.4%



(注)都道府県ごとの政治分野における女性の参画状況について示すべく、47都道府県の形を簡略化したもの

国会議員の女性比率

衆議院の女性議員比率 9.9%

参議院の女性議員比率 22.9%

(注)衆議院議員は令和2年6月17日現在、参議院議員は令和2年7月2日現在
(衆議院・参議院HPより)

世界の女性議員比率

世界平均 下院又は一院制議会 25.0%、上院 24.8%

日本の衆議院の女性議員比率は163位
(下院又は一院制議会の順位)

(注)IPU(列国議会同盟: Inter-Parliamentary Union)Open Data Platformより
調査対象国は190か国(令和2年6月現在)令和2年7月3日閲覧

市区町村別の詳細は「市区町村女性参画状況見える化マップ」で検索!



女性がゼロの市区町村議会の比率



(注)総務省「地方公共団体の議会の議員及び長の所属党派別人員調」より作成
(令和元年12月31日現在)